

大腸癌の自然史はいまだ不明なことが多い。しかし表面型腫瘍の発見頻度とその病理学的解析が進むにつれ、早期癌から進行癌に至るいくつかの経路が判明してきた。本号ではこの点につき最近の研究の結果が凝集されている感がする。

臨床的には経過追跡例の検討から、多くの進行癌は扁平隆起あるいは無茎性病変からのルートが、ポリープ病変からのルートよりも多いことが示されている。なかでも経過追跡例の検討から表面陥凹・平坦病変が浸潤癌の初期病変として重要であるとの報告(西沢)は、臨床面からは極めて重要である。また m 癌の時期は意外と長く、sm に浸潤するとその発育速度が速いことが報告されたが、このことはいかに早期発見が重要であるかを物語っている。

一方、病理学的には初期病変である粘膜内腫瘍

が保存された浸潤癌の解析から、隆起型、表面型腫瘍の中には異型度の高い癌があり、これが浸潤する癌の特徴であると述べられている。そして異型度の低い癌は進行が遅く、悪性度の低い癌であることも判明してきた。しかしそれらの初期肉眼形態の表面型、隆起型の頻度には、今回も報告により違いがある。共通するのは表面型で組織学的に異型度の高い癌をより確実に診断することの重要性であるが、さて、この表面型癌は臨床的にどのような特徴があるのであろうか(本当に IIc だけなのか?)、今後まだ多くの課題が残っている。

また、腺腫(特に 5 mm 以下)は今回の報告でも、経過中にその増大はほとんどなく、ポリペクトミーする必要があることが示され、治療上、1つの指針が示されている。

胃と腸

1月号(第32巻・第1号) 予 告

発売予定 1月25日
定 価 2,060円(税込)

主題／胃 sm 癌の細分類—治療法選択の指標として

序 説	胃 sm 癌の細分類	福岡大筑紫病院・消化器科	八尾 恒良・他
主 題	胃 sm 癌の病理	癌研・病理	加藤 洋・他
	胃 sm 癌の病理	駒込病院・病理	猪狩 亨・他
	sm 胃癌の深達度と粘液形質および癌関連遺伝子産物の発現	九大・2病理	大屋 正文・他
	胃 sm 癌の病理組織学的検討—リンパ節転移を指標として		
		大阪府立成人病センター・病理	辻 直子・他
	胃 sm 癌の細分類とリンパ節転移に関する検討—根治的内視鏡的切除術の適応拡大の可能性	金沢がん研・外科	表 和彦・他
	胃 sm 癌の浸潤・転移・再発と生物学的特徴	九大・2外	掛地 吉弘・他
	胃 sm 癌の細分類からみた縮小手術の可能性—多変量解析を用いたリンパ節転移の予測と腹腔鏡下切除の可能性について	虎の門病院・消外	梶山 美明・他
座 談 会	胃 sm 癌の細分類をめぐって	北里大学・内科	西元寺克禮・他
リフレッシュ講座	<食道検査・治療の基本①>食道二重造影像の解析	東京都がん検診センター	八 巻 悟 郎

胃と腸 (第31巻 第13号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1996年12月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 2,060円(本体 2,000円)(配送料 124円)

1996年 年々ぎめ予約購読料 28,000円(本体 27,184円)(増刊号 4,120円を含む 13冊)(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1996, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複製・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。
- **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>
- 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複製される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

(担当)小松原・湯原・榎兼・江口・長谷川